

「先天性心疾患に合併する類洞交通の推移と臨床的意義」

1. 研究の対象

2011年1月1日より2026年4月30日の期間中当院で心臓外科手術を施行された類洞交通を有する患児を対象とします。

2. 研究目的・方法

研究期間は2026年5月(倫理申請承認後)～2028年3月までの予定です。

冠動脈の類洞交通は一方の心室容積が低形成で高圧になる先天性心疾患に合併することが多いことが知られています。しかし、その臨床的意義は症例によって幅があり、治療戦略を考える上で大事な要素のひとつと考えられています。また、類洞交通の経時的変化やその臨床的意義は未だ不明な点が多いのが現状です。そこで本研究では当院で外科治療を要した症例の内類洞交通が診断されている患児の臨床経過や検査所見を後方視的に検討し、今後の治療戦略の一助とすることを目的とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報録からの情報を用いる。性別、原疾患、経過、最新の健康状態（外来診察記録等より）、当院で行われた心臓カテーテル検査、心臓超音波検査、心筋シンチグラムなどの結果を調査・解析する予定です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立こども病院 心臓血管外科 高原真吾（研究責任者）

住所：宮城県仙台市青葉区落合 4-3-17

電話番号：0570-003-876（ナビダイヤル）